

本文書の目的の概要

本文書の目的は、世界作業療法士連盟(WFOT)が、作業療法の実践領域との関連で、どのように職業リハビリテーションを位置づけるかを表明することである。

この声明書において、職業リハビリテーションとは、人々が仕事に、入職、再入職、復職、就業継続すること¹を援助する多様なサービス提供を広く指す。

世界中の職業リハビリテーションは、程度はさまざまであり、形態も多様であるが利用可能である。公的機関が行う場合もあれば、民間機関が行う場合もあり、非政府組織の中で行われることもある。職歴のある人もない人も対象となっており、多様な専門的あるいは非専門的分野における雇用されている人や雇用主のために行われている。

ポジションについての声明

作業療法士は、産業界や保健医療の人材から、職業リハビリテーションサービスの提供において、重要な役割を担っていると認識されている。

職業リハビリテーションにおいて提供されるサービスは、クライアント、雇用主、保険機関、その仕事が行われる環境のニーズと目標によって決まる。サービスには次の内容が含まれる。

- クライアントや職場の職業前、職業評価のような評価
- 技能構築、職業訓練、ワークハードニング、関連する職場調整といった介入プログラム。これは、以前に働いたことがない、あるいは障害をもったことで仕事のニーズが変わったクライアントのためのものであり、クライアントの入職、再入職、復職、仕事の継続のために行われる
- クライアントや他の人たちへのケースマネジメントやカウンセリング
- 怪我のリスクを最小化し、健康的な仕事文化や健康的な職場を育成する物理的、社会的仕事環境を創造するためのヘルスプロモーションプログラム

WFOTは、仕事²を含む生産的作業に参加する全能力についての人々の権利を確かなものにする。そして、作業療法士が、個人が仕事に参加できるようになるための職業リハビリテーションにおいて専門技能をもつことを確実にする。

作業療法にとってのポジションの重要性についての声明

すべての個人のための仕事関連の事柄を考慮することは、作業療法士の専門性と倫理的責任である。これには、短期的あるいは長期的に障害をもつ人々、不利な状況におかれていたり、社会の隅に追いやられている集団の個人を含む³。

作業的公正や、すべての人のための社会における生産的役割の機会に向かって主張することは、職業的作業療法プロセスの一貫である。

社会にとってのポジションの重要性についての声明

WFOTは、世界保健機関(WHO)の健康の社会的決定要因についての声明の勧告をサポートする。それは「日常生活の状態の改善、つまり人々が生まれ、育ち、暮らし、働き、年老いる場を改善する」⁴ということである。

WFOTは、障害者のよい仕事の促進における国際労働機関(ILO)をサポートする。これは、公平な機会、公平な扱い、障害の主流化(メインストリーミング)、地域との関わり、という原則に基づいている⁵。

ポジションの実質的論拠

作業療法士が職業リハビリテーションにおいて専門技能をもつのは次の理由による。

- 仕事を含むすべてのタイプの作業療法の遂行と結び付きを促進することが基本的関心領域である
- 遂行技能、作業との結び付きに影響を与える背景や環境、クライアントの精神的、身体的健康、心身機能と身体構造に焦点を当てる
- 生活機能と仕事の性質(活動分析など)の評価感の互換性
- クライアントや雇用主のニーズに対する全体的アプローチ

チャレンジとストラテジー

<https://www.wfot.org/resources/vocational-rehabilitation>

(2019年11月22日 吉川ひろみ・訳)

WFOTは、次のことを含む職業リハビリテーションの中でのチャレンジを認識している。

- 職業リハビリテーションという用語の理解の多様性
- 職業リハビリテーションへのアクセスと優先順位の決定
- 地球規模での、地理的な労働市場の変化
- WFOTは、上記のチャレンジに沿って次の戦略を推進する。
- 生産的な仕事に参加するためのすべての人々の権利を主張する
- 一般の人々、雇用主、保険機関に対して、入職、再入職、復職、就業継続を可能にする効果的な評価、介入、予防プログラムを促進する。
- 効果的な職業リハビリテーションサービスの提供の個人的、地域的、社会的、経済的価値を示すさらなる研究を行い発表する。

結論

すべての人は、社会に完全に結び付く権利を有している。これには生産的な仕事への参加が含まれる。職業リハビリテーションサービスの提供は、個人の入職、再入職、復職、就業継続を可能にすることができる。作業療法士は職業リハビリテーションサービス提供において専門技能をもつ

この文書は、2012年台湾でのWFOT会議で承認された。

文献

1. Waddell, G., Burton, A. K., & Kendall, N. A. S. (2008). Vocational Rehabilitation: What Works, for Whom, and When? London: TSO.
2. WFOT (2006) Position Statement on Human Rights
3. WFOT (2005). Code of Ethics.
4. WHO (2008). Social determinants of health.
5. ILO Vocational Rehabilitation and Employment (disabled Persons) Convention (No. 159) and Recommendation (No. 168): United Nations Convention on the Rights of Persons with Disabilities / International Labour Office – Geneva: ILO. 2008